

令和5年度 事務事業評価シート（1）

[令和4年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	精神障害者社会適応訓練事業			事業番号	011-144
担当部署名	健康福祉	局	障害福祉	部	障害施策推進課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～	施策	(5) 障害者が生きがいを持って心豊かに暮らせる社会の実現	
		寄与するKPI	有	取組の方向性	③障害者の社会参加の促進			
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	指標名	—			
		寄与するKPI	無	現状値	—	目標値	—	

2	関連計画	第4次堺市障害者長期計画、第6期堺市障害福祉計画・第2期障害児福祉計画			
3	事業開始年度	平成 18 年度	終了（予定）年度	令和 4 年度	
4	実施根拠（根拠法令、条例等）	堺市精神障害者社会適応訓練事業実施要綱			

事業の概要

5	事業の実施主体（実施主体となる団体等）	本庁			
6	事業の対象（対象とする人や物、対象数）	本市の区域内に住所を有し、将来において就労を希望する通院中の精神障害者	対象数	約20,000 人	
7	事業の目的（事業実施によりめざす状態）	回復途上である精神障害者が一定期間協力事業所に通所し、就労訓練を通じて集中力、対人能力、仕事に対する持久力その他社会生活を送るための適応力等を養うことで、社会的自立を促進する。			
8	事業内容（目的を達成するための手段）	通院中の精神障害者の社会復帰を促進させるため、精神障害者に対する理解が深く、作業の場を提供することができる協力事業所において、社会生活への適応のために必要な訓練を行う。			
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練内容 清掃業務など ・訓練時間 1日につき8時間以内 ・訓練期間 原則6か月間（3年間を限度として延長可能） ※令和2年度で事業廃止が決定しており、令和4年度までが経過措置期間。			
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載				
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）	(株) グランディーユ			
10	公民連携・協働事業				

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	人	実績		目標	目標 終了(予定)年度
				令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和4年度
				目標値	—	—	—
				実績値	0	1	—
	当該指標を選定した理由	精神障害者の社会的自立を促進することは障害者の社会参加を促すことに通じるため					
	目標値の設定根拠・算出方法	訓練生の個別状況等に影響される要素が大きく目標の数値化になじまない。					
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	か所	実績		目標	
				令和3年度	令和4年度	令和5年度	
				目標値	—	—	—
				実績値	1	1	—
	当該指標を選定した理由	精神障害者の社会的自立を促進をすることは障害者の社会参加を促すことに通じるため					
	目標値の設定根拠・算出方法	令和2年3月末時点の訓練生が訓練を終了した時点での事業廃止が決定しているため、目標の数値化になじまない。					

令和5年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	精神障害者社会適応訓練事業	事業番号	011-144
-------	---------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。 (単位：千円)

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度		令和5年度
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算
事業費 (a)	669	258	210	98	0
13 財源内訳	国支出金				
	府支出金				
	市債				
	その他 ()				
	受益者負担金(使用料、手数料等)				
	一般財源	669	258	210	98
14 人件費 (b)	820	820	820	820	0
15 年間経費(c)=(a)+(b)	1,489	1,078	1,030	918	0

事業費の内訳

(単位：千円)

項目	年度	事業費	うち一般財源	項目	年度		事業費	うち一般財源
					R4	R5		
16 事業費内訳	訓練事業、事業所開拓、就労支援	R4 決算	84	84		R4	決算	
		R5 予算				R5	予算	
	その他保険料	R4 決算	14	14		R4	決算	
		R5 予算				R5	予算	
		R4 決算				R4	決算	
		R5 予算				R5	予算	
		R4 決算				R4	決算	
		R5 予算				R5	予算	
	R4 決算				R4	決算		
	R5 予算				R5	予算		

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和3年度	令和4年度
		① 利用者数	1
② 上記①にかかる年間経費	千円	1,078	918
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	1,078,000	918,000
備考 (算出についての説明等)			

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18 令和4年度は協力事業所において、利用者個々の障害特性を踏まえた訓練を行うとともに、就労支援機関である「堺市障害者就業・生活支援センター」では、ハローワークなどと連携しながら就労に至る支援を行うことができた。今年度も利用者数が1名であることから、昨年度と比較しても単位当たり経費大きく変わらない。経過措置で対応していた訓練生においても、無事に一般就労につなぐことができた。

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19 本事業は回復途上である精神障害者が一定期間協力事業所に通所し、就労訓練を通じて集中力、対人能力、仕事に対する持久力その他社会生活を送るための適応力等を養うことで、社会的自立を促進することを目的に実施しており、一般就労への移行を促進している点で、堺市基本計画2025及びSDGs未来都市計画に掲げる取組の方向性に対して寄与している。
 なお、本事業は就労系障害福祉サービス事業所の充実により、ニーズが低下したため令和4年度をもって事業を廃止し、経過措置も終了した。